

# 第19回書道パフォーマンス甲子園 予選審査基準

(全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会)

## 1. 審査結果の発表

令和8年6月17日(水)

## 2. 審査方法

- (1) 予選は別に定める開催要項及び予選実施要領に則り、書道パフォーマンスの動画及び写真により審査する。
- (2) 審査は書道部門とパフォーマンス部門に分けて行い、審査員の人数は書道部門3名、パフォーマンス部門2名とする。
- (3) 審査は全国を北海道・東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の7つの地方ブロックに分けて行い、地方ブロック毎に審査員長を定める。

## 3. 順位の決定(※別紙1参照)

- (1) 各審査員が下記に定める審査項目による採点を行い、その採点結果に基づく地方ブロック内の順位を得点とし、審査員の順位点の合計が最も少ない学校を1位とする。
- (2) 審査項目による採点と同点の場合は、各審査員の判断により順位を決定する。
- (3) 審査員の順位点合計が同点の場合は、審査項目における書道部門の順位点合計が低い学校を上位とする。書道部門の順位点合計が同点の場合は、書道部門の採点合計が高い学校を上位とし、採点合計も同点の場合は、当該ブロックの予選審査員長の順位点が高い学校を上位とする。

## 4. 審査項目等

各審査員は下記の審査項目、審査内容、配点による採点を行い、順位点を導くものとする。

- (1) 書道部門は、「書の美」、「紙面構成」、「用筆の正確さ」、「総合」の4つの審査項目について採点し、審査内容及び配点は下記のとおりとする。
- (2) パフォーマンス部門は、「書き姿」、「構成」、「演技」、「総合」の4つの審査項目について採点し、審査内容及び配点は下記のとおりとする。

### 【審査項目等】

部門	審査項目	配点	審査内容
書道	書の美	30点	書・文字表現・色彩の美しさを評価
	紙面構成	30点	選択した言葉をはじめ、行の流れや紙面全体のバランス、一体感を評価
	用筆の正確さ	30点	用筆の正確さ、運筆の巧みさを評価※
	総合	10点	書とパフォーマンスが融合し、観る人に感動や共鳴を与えたかを総合的に評価
パフォーマンス	書き姿	30点	書く姿がパフォーマンスの中心となり、見せ場として強く印象的であるかを評価
	構成	30点	テーマに沿った演技の構成や演出、また独創性のほか、選択した言葉の評価
	演技	30点	動きの精度やパフォーマンスの質、身体や表情などの表現力のほか、チーム全体の一体感を評価
	総合	10点	書とパフォーマンスが融合し、観る人に感動や共鳴を与えたかを総合的に評価

※ダンスや布などを使って審査員から書いている様子を隠す演出が多くあると、評価につながらないことがありますので、ご注意ください。

## 5. 本戦出場校選出方法（※別紙2参照）

本戦出場校は「開催要項8」に記載のとおり予選審査20校及びチャレンジ枠2校とし、予選審査20校の選出方法は下記のとおりとする。

- (1) 各地方ブロックの枠数は「20校 × (地方の応募数 ÷ 全国のお応募総数)」で算出し、応募があった地方ブロックからは必ず1校は選出する。
- (2) (1)で選出する校数の合計が20校に満たない場合は、選出された割合が低い地方から順に追加する。地方の割合が同率となり20校を超える場合は、以下の優先順位で決定する。
  - ① 予選通過最下位校（予選通過ライン校）との「順位点の差」が少ない学校を優先する。
  - ② ①が同点の場合は、「書道部門」の順位点合計が少ない学校を優先する。

## 6. 罰則事項

(1) 下記の場合は審査対象から除外する。

- ・演技参加人数が12名を超えている場合
- ・完成写真と動画作品が異なる場合
- ・演技中の動画を編集した場合
- ・揮毫用紙の大きさが概ね縦4m×横6mよりも明らかに大きなものを使用した場合
- ・揮毫用紙に白色以外の用紙を使用した場合
- ・揮毫用紙に落款以外の用紙等の貼り付けを行った場合
- ・揮毫用紙への下書き、折目等の加工を行った場合
- ・カラスプレー缶を使用した場合
- ・照明による演出を行った場合

(2) 下記の場合は順位点に加点する。

- ・演技時間が6分を超える場合は10秒毎に4点
- ・応募作品がこれまでの大会本戦や他のコンテスト形式の大会で発表している作品であった場合は16点
- ・演技開始の際、揮毫用紙の上に物品があった場合は物品1個につき1点

(3) その他、提出物に不備や虚偽、または違反があると認められる場合は、主催者で加点または審査対象から除外する。

## 7. その他

- (1) 審査結果は審査員名を非公開とし、応募校に対して地方ブロック順位の一覧、自校の順位点・総得点・得点内訳・審査員講評を送付する。なお、ホームページ等においては、各校の順位点と順位を公開し、学校名については本戦出場校のみの公開とする。
- (2) 本基準に記載されていない事項は、実行委員会で決定する。

## 8. 参加申込・お問い合わせ

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号  
四国中央市教育委員会事務局 教育管理課 文化・スポーツ振興課内  
書道パフォーマンス甲子園実行委員会事務局  
TEL : 0896-28-6037 FAX : 0896-28-6060  
E-mail : info@shodo-performance.jp

HP



別紙 1

順位決定の例

学校名	書道部門												パフォーマンス部門												順位点合計	罰則加算	合計点	ブロック内順位
	審査員A						審査員B						審査員C						審査員D									
	書の美	紙面構成	用筆の正確さ	総合	採点	順位点	書の美	紙面構成	用筆の正確さ	総合	採点	順位点	所作の美	構成・演出	演技・身体表現	総合	採点	順位点	所作の美	構成・演出	演技・身体表現	総合	採点	順位点				
	/30	/30	/30	/10	/100		/30	/30	/30	/10	/100		/30	/30	/30	/10	/100		/30	/30	/30	/10	/100					
あ高校	28	28	29	9	94	1	26	24	25	7	82	3	30	29	28	10	97	1	29	27	29	9	94	2	7	0	7	1
い高校	26	25	27	9	87	3	25	25	27	8	85	2	27	27	27	9	90	2	29	29	29	10	97	1	8	0	8	2
う高校	28	26	26	8	88	2	26	27	27	8	88	1	25	27	25	8	85	4	27	28	28	8	91	3	10	4	14	3
え高校	25	25	24	8	82	4	20	23	24	7	74	4	20	24	20	6	70	5	24	21	20	6	71	5	18	0	18	4
お高校	26	23	24	7	80	5	18	21	21	7	67	6	29	28	24	8	89	3	26	25	26	6	83	4	18	0	18	5
か高校	19	19	19	7	64	6	21	18	22	7	68	5	20	21	20	6	67	6	19	18	19	6	62	8	25	0	25	6
き高校	18	18	19	5	60	7	18	21	20	7	66	7	17	18	20	7	62	7	20	20	20	7	67	7	28	0	28	7
く高校	18	18	18	6	60	8	21	20	18	6	65	8	19	18	16	7	60	8	20	21	22	7	70	6	29	0	29	8

採点と同点の場合は、必ずその審査員の判断で順位を決定する。

合計点と同点の場合は、書道部門の順位点合計が低い学校を上位とする。  
 え高校  $4 + 4 = 8 > 11 = 5 + 6$  お高校  
 ※書道部門の順位点合計が同点の場合は、書道部門の採点合計が高い学校を上位とし、採点合計も同点の場合は、予選審査員長の順位点が高い学校を上位とする。

本戦出場校の選出例

例：応募校数 120 校の場合

- ①各地方ブロックの枠数は「20 校 × (地域の応募数 ÷ 全国のお募総数)」で算出し、お募があった地方ブロックからは必ず最低 1 校を選出
- ②合計が 20 校に満たない場合は、選出された割合が低い地方ブロックから順に追加

ブロック	応募校数 (A)	全体に占める応募校数の割合 (%) (B)	選出校数 (20 × B / 100) = (C) (小数点切捨)	ブロック内選出校割合 (%) (C / A)	選出校数 充当数	選出校数 (最終)
北海道・東北	14	11.7	2	14.3		2 か 3
関東	26	21.7	4	15.4		4
中部	17	14.2	① 2	11.8	② 1	3
近畿	16	13.3	2	12.5	1	3
中国	14	11.7	2	14.3		2 か 3
四国	21	17.5	3	14.3		3 か 4
九州	12	10.0	2	16.7		2
合計	120	100	17			20

②の選出において同率により 20 校を超える場合の選出方法

- ア 予選通過最下位校 (予選通過ライン) との「順位点の差」が少ない学校を優先。
- イ アも同点の場合は、「書道部門」の順位点合計が少ない学校を優先。

ブロック	応募校	書道部門			パフォーマンス部門		順位点 合計	
		審査員 A	審査員 B	審査員 C	審査員 D	審査員 E		
北海道・東北	A 1	1	2	1	3	1	8	
	A 2	予選通過	3	1	2	4	12	
	A 3	ライン	2	3	5	1	3	14
中国	E 1	1	2	1	1	2	7	
	E 2	予選通過	3	1	3	2	3	12
	E 3	ライン	2	4	2	4	1	13
四国	F 1	4	2	1	1	2	10	
	F 2	2	3	2	3	1	11	
	F 3	予選通過	1	4	3	2	3	13
	F 4	ライン	3	1	5	4	6	19

**ア**

点差 2 点

点差 1 点 (予選通過)

点差 6 点

ブロック	応募校数 (A)	全体に占める応募校数の割合 (%) (B)	選出校数 (20 × B / 100) = (C) (小数点切捨)	ブロック内選出校割合 (%) (C / A)	選出校数 充当数	選出校数 (最終)
北海道・東北	14	11.7	2	14.3		2
関東	26	21.7	4	15.4		4
中部	17	14.2	2	11.8	1	3
近畿	16	13.3	2	12.5	1	3
中国	14	11.7	2	14.3	1	3
四国	21	17.5	3	14.3		3
九州	12	10.0	2	16.7		2
合計	120	100	17			20